

自然観察 NOW

野幌森林公園自然情報

2013、6、9 No.3

北海道ボランティア・レンジャー協議会

今年は、雪が多く寒い日が続き、サクラの開花がかなり遅れ、春は待ち遠しかったです。先日、5月19日(日)、私たちの主催する恵庭公園での観察会では、キタコブシの開花は遅れ、エゾヤマザクラなどと共に咲いていました。野山の春は、まずキタコブシの白い花が咲き、それに一定の日程をおきながらサクラが開花するという自然のリズムがやや狂ってしまったようでした。私たちを含めて植物たちも日射時間、気温などが微妙に影響しあっているようです。

それでも気温も上がり、一気に初夏を迎えることになってきました。

《シウリザクラを観察してみよう》

サクラといえば、ソメイヨシノ、エゾヤマザクラ、チシマザクラなど淡紅色の花が樹木全体を覆う、場所によっては山全体を覆い燃えるような美しい風情は日本人の感性にぴったりのものです。

今回は、これらのサクラとは違うが、サクラの仲間であるシウリザクラについて記してみたい。

このシウリザクラの花弁(花びら)は4~5mmほどで小さく円形で、花序は白い花が総状(花軸に柄を持つ)につらなって15~20cmの大きさにもなって堂堂としています。このサクラは花序からいっても開花の時期からもサクラとは思えないかもしれません。でも、葉柄の上端にある一対の蜜腺があるのでサクラの仲間であることがわかります。また、このサクラは直線上に自生しているようです。エゾヤマザクラなどサクラの仲間からすると異端でマイノリティのように見えます。でも、アサダ、キタコブシ、ヤマモミジなどとも混交し、生物多様性からいっても貴重なものです。

このサクラは水に恵まれた肥沃な土地を好むようです。

この名前はアイヌの人たちがシュ・ニ(苦い・木)と

呼んだことに由来しているそうです。彼らは、この皮を煎じてお茶や薬として飲んでいたといわれています。この木は美しい木目をしているので家具、楽器、彫刻などに用いられているようです。

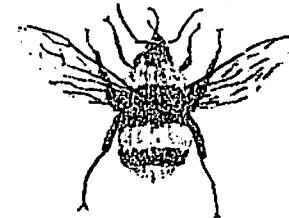


《外来種 セイヨウオオマルハナバチの駆除が課題となっています》

ハチといえば、これから季節はスズメバチに刺されないように注意が必要になってきます

した。今回はこのハチではなく、ハウス栽培でトマト、ナスの受粉の助けをしてくれる昆虫としてヨーロッパから導入したセイヨウマルハナバチに関してレポートしてみたい。この<黄色いエリマキ>をまとう<真白なお尻>のハチは花の根本に穴を開け蜜を吸う（盗むともいわれ）ので、受粉どころか花は枯れ実はつかなくなってしまうようです。在来種のミツバチなども生存競争に負け数を減らしているそうです。

5月25日の『朝日新聞』によれば、恵庭市で東大の鷺谷いづみさん（保全生態学、生物多様性の視点から里山、里地の重要性を積極的に論じている。もう少しコメントさせてもらうと、平成22年の道立高校入試、国語の課題文は彼女の論文「自然再生」から出題されています。その年の「NOW」3号にも掲載してみました。とってもステキな文章です。）も参加されてセイヨウマルハナバチの駆除を行った。約50の市民が参加されて113匹を捕獲し、写真入りで報道されていた。



道も、今年から「生物多様性」の条例を制定し、外来種を積極的に防除、駆除などを推進して行こうとしています。今回の駆除はその一つのようです。

私たちも、4年前からこの公園の周縁で、このハチの駆除に取り組んできました。花の咲く時期が変わってうまく捕獲されていないのですが、昨年は<開拓の村>の前庭でエゾムラサキツツジに群がるセイヨウマルハナバチを100匹ほど捕獲しました。今年は、残念ながら、この花の開花が大きく遅れ協議会としては取り組めなかった。それでも、その後の開花のチャンスを見ながら、仲間のAさんは50匹、Bさんは他の公園も含めて50匹捕獲し、駆除しました。

道の生活環境部の指導のもとに「駆除従事証」を持って実施しています。

《外来種 オオハンゴウソウの防除を行って》

この野幌森林公園で、市民のみなさんにも参加を呼びかけて、総勢35人位で毎年約1万本を引き抜いて処分してきました。この公園の中央線の道路沿いはかなり少なくなってきたようです。昨年はこの道路の内側にも入って作業を行いました。かつては農地として利用されていたようですが、すべてこの外来種に覆われ在来種はほとんど見当たらなかった。あまりにも強い繁殖力に驚いていました。こうして外来種の導入は本来の生態系を破壊してしまうことが多いです。

市民のみなさんも自然観察会を通して自然の生態系を学び、それを生かしていく工夫をされると共に、外来種の防除にも関心を持っていただければと思っています。

やや宣伝になりますが、今年も7月28日（日）、この公園で10時から2時間の予定でオオハンゴンソウの防除作業を行います。都合がつきましたら参加してみてください。

* 次回の自然観察会は8月8日（木）

テーマは、<夏の森の観察会（瑞穂の池）> 開拓の村 集合
10時～13:30 昼食 持参 詳細は自然ふれあい交流館で